中部様式

令和２年度　地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

鯖江市地域公共交通活性化協議会

平成２７年４月１日設置

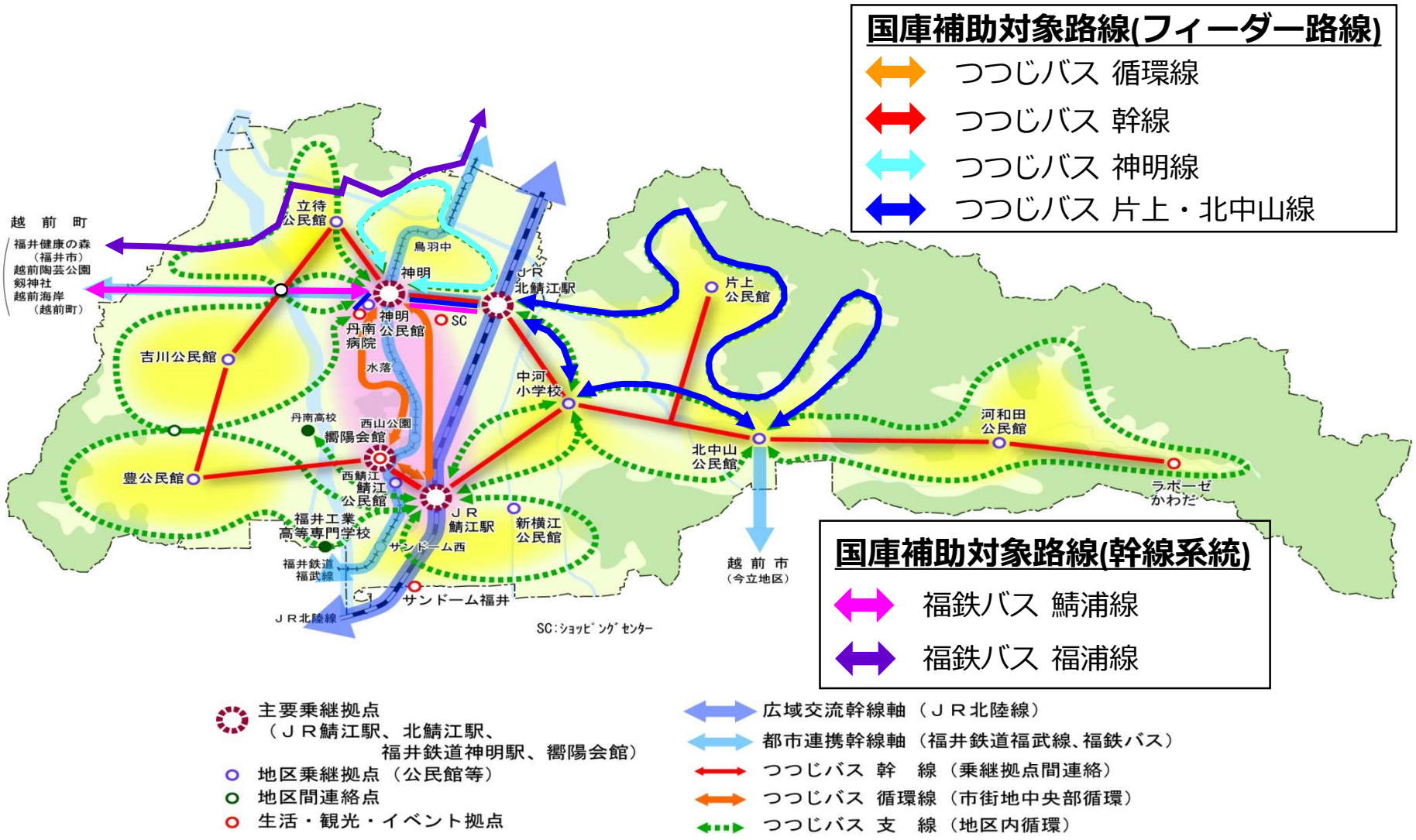
フィーダー系統　平成２９年３月１０日　確保維持計画策定等

１.直近の二次評価の活用・対応状況

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
引き続きの利用促進	高齢者サロン事業に 「つつじバス講座」の設置	魅力ある講座の展開

◆どこにでも歩いて行けるまち

南北を縦断する鉄道、隣接市町から運行する広域路線バスをつつじバスと接続し、鯖江市内外への交通アクセス利便性向上を図ります。



3.目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容　（Do）

1　多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現

◆ 高年大学へのアクセス回数増

2　まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現

◆ 待合環境の整備
・北中山公民館等３箇所に待合上屋を設置

3　観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現

◆ つつじバス情報案内の設置、つつじバスのリアルタイム位置情報表示
・ＪＲ鯖江駅バス停にバス発着を案内するデジタルサイネージを設置
・グーグルマップの経路検索（ＧＴＦＳ）の整備

◆ つつじバスの利用料割引制度の充実
・学生用回数券の発売（福井高専売店での外部販売）
・定期券の発売

◆ つつじバス携帯時刻表のサイズアップ

4　市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現

◆ 利用促進
・つつじバスの鯖江市内の地区別ダイヤ、個人向けのマイ時刻表の作成
・市民団体が公募した短歌作品をつつじバス車内に掲示

5　高齢利用者の方々の地域の足となる公共交通の実現

◆ つつじバス講座の実施
・高齢利用者の方々への引き続きの利用促進を目指し、
高齢者サロンにてつつじバスの運行体系、乗り継ぎ方、お得な制度などの説明の実施。
(別紙に参考資料を添付。)

4.計画の達成状況の評価指標とその結果　（Check）1/3

◆評価の指標

・つつじバスの年間利用者数

・福鉄バス（鯖浦線・南越線）の延伸バス停の利用者数

※地域に根付く公共交通機関として恒常的な利用があるかが重要

◆目標・実績（つつじバス）

期間	［H28］ H28.4～H29.3	［H29］ H29.4～H29.9	［H30］ H29.10～H30.9	［H31］ H30.10～R1.9	[R2] R1.10～R2.9
目標	－	113,900	228,500	229,200	229,900
実績	183,083	69,950	136,190	144,734	112,368人

◆福鉄バスの延伸バス停の利用者数

	鯖浦線		南越線	
	アル・プラザ鯖江	ＪＲ北鯖江駅	ハニー東陽店	北中山公民館
H30	乗1,258/降1,048	乗992/降532	乗60/降14	乗24/降18
H31	乗1,438/降1,450	乗789/降318	乗183/降26	乗187/降11
R2	乗896/降983	乗589/降316	R2.10～路線規模縮小のため廃線	R2.10～路線規模縮小のため廃線

◆（参考）一便あたりの利用者数推移

路線名	Ｈ２９（H28.10～H29.9）	Ｈ３０（H29.10～H30.9）	Ｈ３１（H30.10～R1.9）	Ｒ２（R1.10～R2.9）
循環線	7.47	6.90	7.57	6.11
幹線	12.08	10.22	10.21	7.91
鯖江南・新横江線	2.98	2.58	3.43	1.92
神明線	4.64	4.66	4.98	4.23
片上・北中山線	5.53	4.87	4.16	3.35
立待線	5.66	6.08	5.26	4.52
吉川線	7.08	6.16	6.30	5.18
豊線	7.28	6.97	6.14	4.12
中河・北中山線	3.75	3.72	3.90	2.49
河和田線	14.50	13.24	12.79	9.21
通学便市内高校ルート	9.12	11.85	10.54	7.09
通学便片上・北中山ルート	0.46	1.82	1.41	0.41
通学便立待ルート	0.91	2.02	3.02	2.55
通学便吉川ルート	0.19	1.04	1.75	2.73
通学便豊ルート	0.42	0.76	1.41	0.34
通学便中河・北中山ルート	0.19	0.46	0.13	0.06
通学便河和田ルート	3.25	3.43	3.97	4.27

考察

- 新型コロナウイルスの影響を大きく受けた（令和２年３月～）
  特に令和２年４月および５月は対前年比で４割強ほどであった
- 網計画で設定した目標には届いていない
- 主な利用者が高齢者であることから、更なる高齢利用者の増加を図らなければならない
- 鯖浦線はアル・プラザ鯖江への利用として定着してきている
- 抜本的な改善には至っていないが、令和３年度は「路線の定着」を図っていく

5.自己評価から得られた課題と対応方針　（Act）

全体
再編実施以前の利用者水準まで回復を図る

課題	対応方針
高齢利用者への利用促進	・高齢者ライトユーザーへの利用促進を行う 対応策：公民館のサロン等で、バスの乗り方等を案内する出前講座を実施
新規の利用者層の獲得	・幅広い年齢層を呼び込む 対応策：冬季通学便の運行に関する広報掲載 ダイヤ改正に関する広報掲載
路線の定着	・ダイヤの周知を行う 対応策：マイ時刻表の作成、乗継情報の発信 Googleマップへのバス情報アップロード バスロケアプリの普及促進

◆つつじバス講座の実施

引き続きの利用促進を目指し、令和２年度においては
高齢者サロン事業に「つつじバス講座」を設置し、
つつじバスの運行体系・お得な制度・時刻表の見方・乗継ぎ方などの
説明・周知を行いました。

◆実施風景